

令和4年 第2回区づくり推進横浜市議員会議（緑区）

令和4年6月8日（水）

午後2時45分から3時45分まで

緑区役所会議室4AB

1 開 会

2 区長あいさつ

3 議 事

- (1) 令和4年度 緑区運営方針
- (2) 緑区に係る予算のすがた（令和4年度一般会計当初予算）
- (3) 令和4年度 個性ある区づくり推進費 執行状況

I 基本目標

次世代につなぐ みんなにやさしいまち 「ふるさと みどり」



緑区は豊かな自然の中で、地域の皆さまの温かい「つながり」が息づく、みんなにやさしい魅力あふれるまちです。これは、区民の皆さまの継続した活動により大切に育てられてきたものです。

この魅力あふれるまちを次世代に引き継いでいくために、新型コロナウイルス感染拡大防止と社会経済・地域活動の回復を図るとともに、デジタル化やデータ活用などをさらに推進しながら、地域課題の解決を図ることで、区民の皆さまに一層信頼される区政運営を実現していきます。区民の皆さまが安心して活動し、安全で住み続けたいと思えるみんなにやさしいまち「ふるさと みどり」を目指して、区民の皆さまの声に寄り添いながら、事業・取組を着実に進めていきます。

II 目標達成に向けた施策

1 安全・安心なまち

新型コロナウイルス感染症対策のさらなる強化を進めるとともに、新しい生活様式での様々な地域活動を支援します。

自助・共助による防災・減災、防火・防犯等、地域の特性に応じた区民の皆さまの主体的な取組を支援するなど、災害に強いまちづくりを進めます。

区民生活に身近な道路の交通安全や食の安全、災害時のペット対策の啓発など、暮らしの安全対策に引き続き取り組めます。

2 いきいき暮らせるまち

子どもたちや子育て中の方、高齢者、障害者、外国人の方々や生活にお困りの方など、誰もが安心して暮らし続けられるよう、共に支え合うつながりのあるまちづくりを進めます。また、健康づくりや健康寿命の延伸に向けた取組を推進します。

会議や研修、地域との情報共有等でのWebの活用、ペーパーレス化の推進など、デジタル化による市民サービスの向上と業務効率化を進めます。また、地域課題の分析のためのデータ活用に係る取組を進めます。

身近な区役所として基本的な行政サービスに適正・迅速・丁寧に取り組み、信頼される窓口サービスを目指します。

3 みどりの魅力あふれるまち

緑区独自の魅力である緑あふれる自然、都市農業、歴史的資源などを広く発信するとともに、緑区に住んでみたい、住み続けたいと思えるような効果的な広報を行います。

商店街振興や芸術・文化・スポーツ活動の促進など、経済の活性化や地域活力の向上を図ります。また、魅力ある公園づくり、花植えや植樹、清掃活動など地域の良好な環境づくりを進めます。

再生可能エネルギーの活用や庁舎内の緑化の推進等により、脱炭素化に向けた取組を推進します。地域の自主的な活動やその担い手の育成、ICTを活用した地域活動の取組を支援します。

III 目標達成に向けた組織運営

●適正・迅速・丁寧に取り組みます

信頼される区役所を目指し、一人ひとりに寄り添い、わかりやすいご案内を心がけるとともに、ICTなども活用しながら証明書等の発行、各種相談・支援・広報など、基本的な行政サービスに適正、迅速かつ丁寧に取り組みます。

また、区民の皆さまの声を真摯に受け止め、ニーズを把握して区政・市政への反映に努めます。

●地域との協働・共創を進めます

自治会や関係団体、企業、大学、NPOなど様々な担い手と協働・共創の意識を持ち、新たな施策・事業の展開につなげます。

全ての区役所職員が一丸となって、地域別の統計データなども活用しながら多様化する地域の課題や要望を受け止め、地域の自主的な課題解決を支援します。また、ICTやデジタル化を進めるなど、持続可能な社会を創る視点で業務に取り組みます。

●チーム力・職員力を高めます

地域課題や組織運営上の課題を自ら発見し、職員同士が連携して解決に向けて取り組みます。

情報や課題を共有し、チーム力を最大限発揮できる環境づくりと人材育成に取り組むとともに、常に業務を見直し、効率的・効果的な事務運営に取り組みます。



令和3年度より、運営方針の取り組みにSDGsを意識するため、施策ごとにSDGsの17の目標との関連性を示しています。SDGsの17の目標の詳細については、P2に掲載していますのでご確認ください。

【参考】主な事業・取組

※詳細の事業は緑区WEB「令和4年度緑区予算」を確認してください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/midori/kusei/uneihoshin-yosan/yosan/default2022.html>

1 安全・安心なまち



①新型コロナウイルス感染症対策

感染症対策のさらなる強化を進めるとともに、新しい生活様式での地域・経済活動を支援します。

- ・感染症予防対策物品等の購入
- ・区民の皆さまが着実にワクチン接種が受けられるための体制強化
- ・商店街・中小企業等への支援策に係る情報提供

②地域防災・減災の強化

防災ネットワークや関係機関との連携強化、啓発・研修等を通じて、コロナ対策を踏まえた災害に強いまちづくりを区民の皆さまと協働して推進します。

- ・地域防災拠点運営委員会や自治会等への専門家の派遣【新規】
- ・女性視点を盛り込んだ避難所づくりに必要な備蓄品の購入【新規】
- ・外国人居住者や妊産婦の要援護者に向けた防災リーフレットの作成【新規】

③安全・安心な環境づくり

自治会、緑警察署等と連携し、地域での自主的な防犯活動推進への情報提供・活動支援を行います。また、道路などの適切な維持管理に努めるとともに、スクールゾーン対策協議会等と連携し、交通安全対策を推進します。

- ・バスラッピングによる特殊詐欺被害防止の啓発【新規】
- ・生活道路等の交通安全対策実施
- ・緑区キャラクター「ミドリリン」をデザインしたランドセルカバーの作成【新規】

④暮らしの衛生の推進

食中毒や感染症の予防、虫や動物との正しいかかわり方、また、発災時における避難所での衛生対策やペット対策について、周知・啓発を図ります。

- ・コロナ後を見据えた地域行事等における食品取扱い等についての啓発
- ・希望する地域防災拠点へのスターターキットの配備【新規】

参考：SDGsの17の目標

「SDGs(エスディーゼズ)」は「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略で「誰一人取り残さない」を基本理念とする、国連サミットで採択された国際目標です。17のゴール(目標)は世界の都市に共通した普遍的なものであり、緑区においてもSDGsの基本理念を意識し、あらゆる施策に取り組んで参ります。



緑区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



地球上のあらゆる形の貧困をなくそう



すべての人が、安くて安全で現代的なエネルギーをずっと利用できるようにしましょう



気候変動から地球を守るために、今すぐ行動を起こそう



飢えをなくし、だれもが栄養のある食糧を十分に手に入れられるよう、地球の環境を守り続けながら農業を進めよう



みんなの生活を良くする安定した経済成長を進め、だれもが人間らしく生産的な仕事ができる社会を作ろう



海の資源を守り、大切に使う



だれもが健康で幸せな生活を送れるようにしましょう



災害に強いインフラを整え、新しい技術を開発し、みんなに役立つ安定した産業化を進めよう



陸の豊かさを守り、砂漠化を防いで、多様な生物が生きられるように大切に使う



だれもが公平に、良い教育を受けられるように、また一生に渡って学習できる機会を広めよう



世界中から不平等を減らそう



平和でだれもが受け入れられ、すべての人が法や制度で守られる社会をつくらう



男女平等を実現し、すべての女性と女の子の能力を伸ばし可能性を広げよう



だれもがずっと安全に暮らせて、災害にも強いまちをつくらう



世界のすべての人がみんな協力しあい、これらの目標を達成しよう



だれもが安全な水とトイレを利用できるようにし、自分たちでずっと管理していけるようにしましょう。



生産者も消費者も、地球の環境と人々の健康を守るよう、責任ある行動をとろう

2 いきいき暮らせるまち



<p>①「みどりのわ・ささえ愛プラン」の推進</p>	<p>身近な地域で誰もが安心して暮らし続けられるよう、共に支え合い、コロナ禍でもつながりのある緑区を目指して、地域、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等と協働しながら、第4期緑区地域福祉保健計画を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区計画推進策定委員会を踏まえた取組の推進及び地区別計画推進策定委員会等が推進する取組への支援
<p>②あんしん子育て支援の充実</p>	<p>妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行います。あわせて地域の子育て支援活動や区内保育施設とネットワークの構築を進め、地域全体で子育て家庭を支える環境づくりや保育の質の向上を図ります。また、小学生の放課後の居場所づくりを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレパパ・プレママ講座、赤ちゃん教室の実施 ・区Webページ、「みどりっこひろば」などによる子育て支援情報の発信
<p>③地域における青少年の育成</p>	<p>次世代を担う青少年の育成に向け、関係団体との連携や取組支援を進めます。また、子どもたちがまちづくりに携わる楽しさを知るきっかけをつくるための取組を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学等と連携した青少年向けの科学技術分野の実験教室等の開催 ・子どものまちづくりイベント Mini Mini Midoriの実施
<p>④高齢者・障害者施策の推進</p>	<p>住み慣れた地域で医療、介護等が切れ目なく提供できるよう、地域包括ケアシステムの構築を図ります。障害者の社会参加や生きがいづくりの場を充実させ、区民の皆さまの障害理解を促進します。また、地域の特性に応じた事業を展開するためのデータ集を作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内障害福祉施設を巡るスタンプラリーの実施 ・地域特性のデータ集の作成【新規】
<p>⑤多文化共生の推進</p>	<p>多様な言語・文化・価値観をお互いが認め合い、協働で創造的な活動に取り組むことができる環境を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生社会の拠点としての国際交流ラウンジの運営
<p>⑥生涯にわたる健康づくりの推進</p>	<p>区民の皆さまの生涯にわたる健康づくり、健康寿命の延伸に向けた取組を福祉・保健に関連する団体等と協働で行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育の日キャンペーン、推定野菜摂取量測定の実施
<p>⑦暮らしのなかのセーフティーネット</p>	<p>ひとり暮らし高齢者等への地域の見守り活動の推進、生活にお困りの方への自立に向けての支援、相談窓口の周知など制度理解を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員によるひとり暮らし高齢者等への見守り活動の支援 ・生活にお困りの方への就職及び家計改善に向けた支援の実施 ・法律相談、司法書士相談等の専門家への相談、女性の福祉やひきこもり等に関する相談の実施
<p>⑧信頼される窓口サービス</p>	<p>個人情報保護を徹底するとともに、区民の皆さま一人ひとりに寄り添いながら、わかりやすいご案内を心がけるなど、基本的な行政サービスの向上に努めます。また、区民生活に関わりの深い戸籍・住民登録・税金・保険年金等の各種制度を適切に運用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの確実な交付をはじめ個人情報の適正な管理 ・窓口間連携によるわかりやすいご案内 ・快適な窓口環境の整備

3 みどりの魅力あふれるまち



①自然、農、歴史、商店街など、みどりの魅力を活かした地域活性化

自然、農、歴史などの地域資源や街の賑わいの核となる商店街の魅力など、緑区の魅力を広く発信するとともに、緑区に住んでみたい、住み続けたいと思えるような効果的な広報を行います。

- ・緑区プロモーション戦略策定事業【新規】
- ・区の統計データをまとめたデータ集「教えてみどり」の作成・公開【新規】
- ・緑区商店街ポイントラリー、商店街スペシャルウィークによる活性化促進
- ・地産地消推進、緑区遺産、フォトアーカイブ、アートイベント等による区の魅力発信

②スポーツを通じた地域づくり

区民の皆さまがスポーツに親しむ環境づくりを進め、多様性ある社会の実現を目指します。

- ・みどりスポーツ振興事業、スポーツフェスティバルの実施

③区民の皆さまによる芸術文化活動の振興

区民の皆さまが身近な場で多様な表現活動に触れられることができる機会を確保するため、地域芸術文化団体の活動支援を実施します。

- ・緑・芸術文化活動支援事業
- ・若年層の掘り起こしを目的としたワークショップ等の開催【新規】

④環境行動の推進

3R行動や脱温暖化の取組、街の美化のための道路沿道等への花植え・植樹や清掃、公園の維持管理などを地域と協働で取り組むことで、良好な環境づくりを進めます。

- ・緑区チャレンジ提案事業「脱炭素化推進コース」の新設【新規】
- ・公園愛護会の活動を紹介するカレンダー等の作成【新規】
- ・花と緑のサポーター養成講座の開催
- ・山下長津田線などの街路樹の更新・補植
- ・環境講演会、小中学校等への3R出前講座、広報キャンペーン、緑区フードドライブ等の実施
- ・みどりサンプラプロジェクト（若者と子どもたちによる地域清掃）の実施

⑤地域の現状を踏まえたまちづくり

地域住民の皆さま主体のまちづくり支援を実施します。また、駅周辺のバリアフリー化を進めます。

- ・バリアフリー基本構想の策定【新規】
- ・住民の皆さま主体のまちづくりの支援（山下地区、東本郷地区、十日市場地区等）
- ・山下地域交流センター活用等の検討

⑥ICT等を活用した地域力の推進と市民活動の支援

区民の皆さま主体による地域の課題解決や魅力づくりに向け、地域の公益的活動への支援、地域活動の担い手の育成、自治会加入促進の支援、新しいつながりづくりの創出に向けたWeb会議システムを利用した講座の開催、パソコン・スマホ講習会等の支援を行います。また、子どもから大人まで多くの方が本を身近に感じ、読書を通じて豊かな心を育てるよう、読書活動を推進します。

- ・オンライン会議・イベントを開催する仕組みを学ぶ講座の実施
- ・青少年向け読書啓発事業の実施



▲緑区キャラクター「ミドリ」をデザインしたランドセルカバーの作成（安心・安全なまち）



▲子どものまちづくりイベント Mini Mini Midoriの実施（いきいき暮らせるまち）

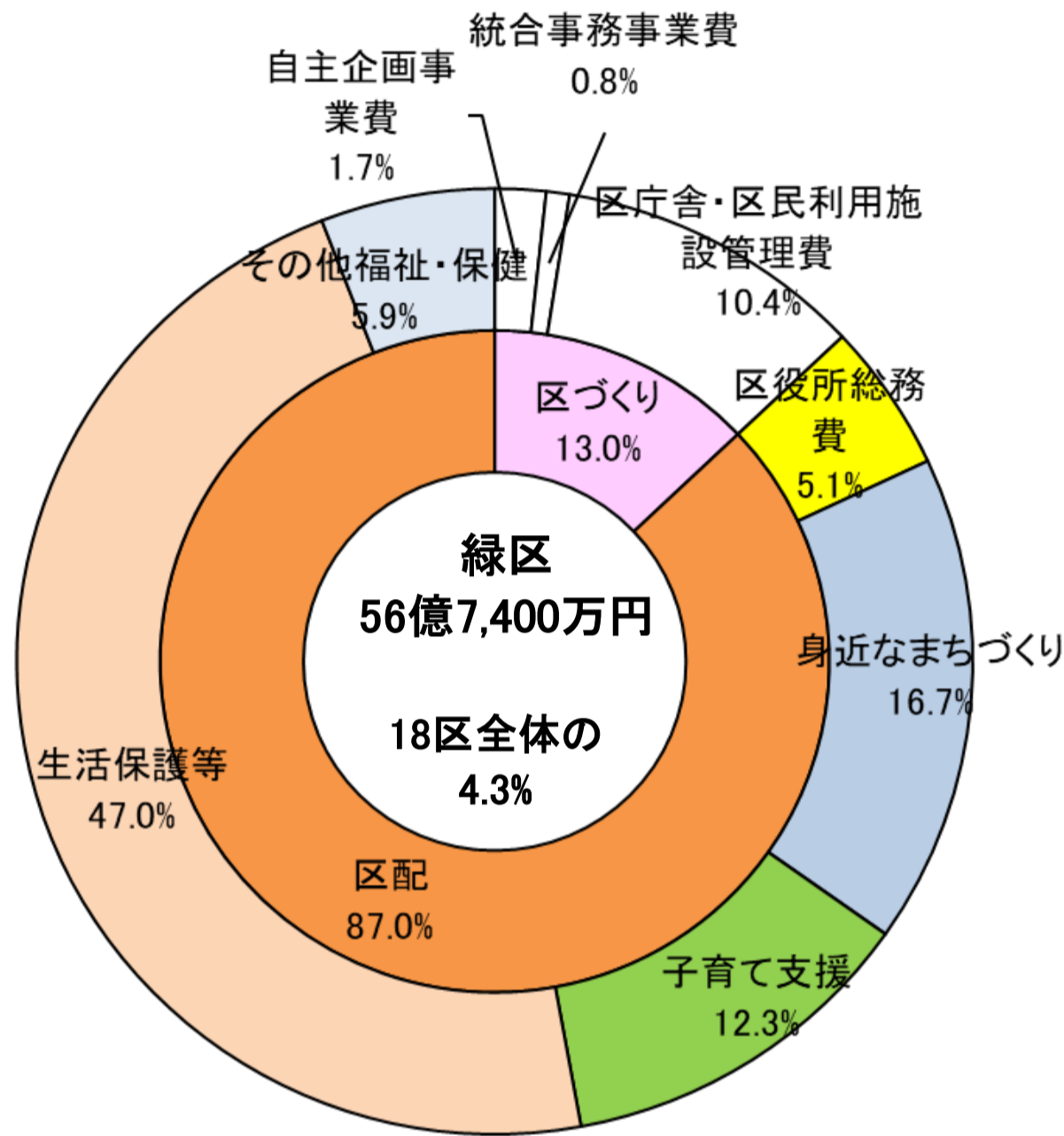


▲オンライン会議の開催支援（みどりの魅力あふれるまち）

緑 区に係る予算のすがた (令和 4 年度一般会計当初予算)

横浜市の一般会計の当初予算は 1兆9,748億7,400万円です。

緑区の予算は人件費を除いて 56億7,400万円となっており、18区全体の予算 1,325億3,900万円の 4.3%を占めています。



(単位:百万円)

	予 算	割 合
個性ある区づくり推進費	735	13.0%
自主企画事業費	98	1.7%
統合事務事業費	45	0.8%
区庁舎・区民利用施設管理費	593	10.4%
区配付予算	4,939	87.0%
区役所総務費	288	5.1%
身近なまちづくり	950	16.7%
子育て支援	700	12.3%
生活保護等	2,667	47.0%
その他福祉・保健	334	5.9%
合 計	5,674	100.0%

※ いずれの予算も人件費を含めていないため、「資料3」の予算総括表とは一部金額が異なります。

※ 各項目で四捨五入をしているため、合計と一致しない場合があります。

主 な 事 業 内 容

(単位:百万円)

分類	R4予算	R3予算	差引	説明
個性ある区づくり推進費	735	737	-2	区の裁量や創意工夫に基づき自律編成する予算
自主企画事業費	98	98	0	地域の身近な課題やニーズに、迅速かつ、きめ細かく対応するための事業費です。
統合事務事業費	45	44	0	広報よこはま各区版の発行や各区市民相談、青少年指導員等の活動、生活保護及び戸籍・住民登録等に係る経費です。
区庁舎・区民利用施設管理費	593	595	-2	区庁舎や地区センターなどの区民利用施設の管理運営に係る経費です。
区配付予算	4,939	4,787	152	局からの予算配付を受け、区が執行している予算
区役所総務費	288	257	31	(総務部が執行する予算です。)
賦課徴収費	61	59	2	市税の課税・納税に関わる償還金や還付加算金、納税通知書の作成や発送するための経費などです。
広報費	13	13	0	「広報よこはま」や「県のたより」の配布謝金など、広報・広聴に係る経費です。
その他	214	185	29	戸籍住民登録の事務費、各種選挙の実施、自治会・町内会組織助成などを行います。
身近なまちづくり	950	881	69	(土木事務所が執行する予算です。) 1,094 百万円 *下水道事業を含む
道路修繕費等	699	647	52	道路の修繕や交通安全施設の整備・補修などを行います。
河川維持管理費等	78	63	15	準用河川の維持管理や親水水路の維持管理などを行います。
下水道事業(※参考)	(144)	(131)	13	既設管の修繕や共同排水設備の受託施工などを行います。
公園管理費等	174	171	3	身近な公園の維持管理や老朽化した公園施設の改良などを行います。
子育て支援	700	636	64	(福祉保健センター等が執行する予算です。)
市立保育所運営	73	86	-14	保育が必要な乳児、幼児を保育する保育所の運営費です。
放課後児童健全育成	493	435	58	放課後キッズクラブ運営委員会への補助金などです。
その他	134	114	20	地域子育て支援拠点の運営費、小児医療費助成費などです。
生活保護等	2,667	2,688	-21	(福祉保健センターが執行する予算です。)
生活保護	2,609	2,574	35	生活困窮者に対して、国の定める基準により、その困窮の程度に応じて扶助費を支給するための経費などです。(対象世帯2,158世帯:令和4年3月時点)
生活困窮者自立支援	58	114	-56	生活保護に至る前段階の生活困窮者に対して、国の定める基準に基づき、自立に向けた包括的な相談支援を実施するための経費などです。
福祉・保健	334	325	9	(福祉保健センターが執行する予算です。)
障害者福祉	126	119	7	身体障害児・者の身体機能を補う用具、日常生活を円滑にするための各種用具の給付・貸与を行うほか、障害状況等に合わせた住宅改造や自立支援機器の購入・取付に関わる経費の助成などを行います。
高齢者福祉	29	26	3	老人クラブへの助成や寝たきり高齢者等への日常生活用具の給付・貸与に関わる経費。介護予防型のデイサービス事業(介護保険対象外事業)などを行います。
その他	180	180	0	地域ケアプラザの管理運営経費や民生委員・児童委員の活動費の支給などを行います。
合 計	5,674	5,524	151	(※) 下 水 道 事 業 を 含 む 5,818 百万円

※各項目で四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

※年間を通じた概ねの配付額を算出していますので、あくまでも区に係る予算の大まかな全体像を示した内容となっています。
(現時点では区への配付額が未定のため、区へ配付する予定額を18区均等配分したものや按分したものも含まれています)

令和4年度 個性ある区づくり推進費 執行状況

緑 区



令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業一覧

[単位:千円]

No.	事業名	新規重点	R04予算	R03予算	増△減	所管課	ページ
① 安全・安心なまち			17,757	17,407	350		
1	災害に強いまちづくり事業	重点・拡充	7,997	7,867	130	総務課、福祉保健課	3
2	安全・安心まちづくり推進事業		1,820	1,820	0	地域振興課	4
3	交通安全対策事業		3,774	3,554	220	地域振興課	5
4	交通安全施設等整備事業		2,500	2,500	0	土木事務所	6
5	暮らしの衛生推進事業		1,666	1,666	0	生活衛生課	6
② いきいき暮らせるまち			21,742	21,734	8		
6	健康たうん・みどり推進事業		3,458	2,586	872	福祉保健課	8
7	共に支えあう福祉保健の地域づくり事業		4,295	5,877	△ 1,582	福祉保健課	8
8	あんしん子育てネットワーク事業	重点	8,100	7,998	102	こども家庭支援課	9
9	保育所すこやか子育て支援事業		2,170	2,367	△ 197	こども家庭支援課	10
10	DV対策・児童虐待防止事業		645	645	0	こども家庭支援課	11
11	青少年地域サポート事業		1,151	1,373	△ 222	地域振興課	11
12	高齢者生きがい推進事業		463	463	0	高齢・障害支援課	12
13	障害者自主製品販売支援・障害理解促進事業		460	425	35	高齢・障害支援課	12
14	地域特性データ集作成事業	新規・重点	1,000	0	1,000	高齢・障害支援課、福祉保健課	12
③ みどりの魅力あふれるまち			58,084	58,477	△ 393		
15	花と緑あふれるふるさと緑区事業	重点	5,000	5,000	0	土木事務所	13
16	生物多様性保全に向けた遊水地等の環境整備事業		3,000	4,600	△ 1,600	土木事務所	13
17	魅力ある公園づくり事業	新規	1,000	0	1,000	土木事務所	13
18	とれたてみどり地産地消推進事業 (令和3年度:みどり!まるごと応援事業)		2,867	5,148	△ 2,281	区政推進課	14
19	みどり地域まちづくり推進事業		2,695	2,348	347	区政推進課	14
20	子どものまちづくりイベントMini Mini Midori		3,500	3,500	0	区政推進課	15
21	ふるさとみどり魅力発信事業	新規・重点	7,512	0	7,512	区政推進課	15
22	みどり環境行動啓発事業		1,000	900	100	区政推進課	16
23	読書活動推進事業		500	500	0	地域振興課	16
24	緑・芸術文化事業		2,160	2,361	△ 201	地域振興課	16
25	3R推進事業		2,258	2,258	0	地域振興課	17
26	きれいなまちづくり事業		2,498	2,498	0	地域振興課	17
27	緑区商店街振興事業		2,706	3,169	△ 463	地域振興課	18
28	区民まつり事業		5,600	5,600	0	地域振興課	18
29	地域振興事業		2,189	2,189	0	地域振興課	19
30	市民活動パワーアップ支援事業		3,462	3,462	0	地域振興課	19
31	みどりスポーツ振興事業		1,854	1,720	134	地域振興課	20
32	広報・広聴事業		2,643	2,763	△ 120	区政推進課	20
33	区民から親しまれる区役所づくり事業	拡充	5,640	5,461	179	総務課	21
	アートによる緑区の魅力発信事業 (ふるさとみどり魅力発信事業に統合)		0	5,000	△ 5,000	区政推進課	
合計			97,583	97,618	△ 35		

令和4年度 個性ある区づくり推進費 予算総括表

[単位：千円]

区 分	R04予算	R03予算	増△減
1 自主企画事業 (33事業)	97,583	97,618	△ 35
(1) 安全・安心なまち (5事業)	17,757	17,407	350
(2) いきいき暮らせるまち (9事業)	21,742	21,734	8
(3) みどりの魅力あふれるまち (19事業)	58,084	58,477	△ 393
【重点事業】 5事業 予算額 29,609千円 ◆災害に強いまちづくり事業 7,997千円 * (1) で計上 ◆あんしん子育てネットワーク事業 8,100千円 * (2) で計上 ◆地域特性データ集作成事業 1,000千円 * (2) で計上 ◆花と緑あふれるふるさと緑区事業 5,000千円 * (3) で計上 ◆ふるさとみどり魅力発信事業 7,512千円 * (3) で計上			
2 統合事務事業費	44,622	44,487	135
(1) 統合事務費	24,764	24,743	21
(2) 統合事業費	19,858	19,744	114
3 区庁舎・区民利用施設管理費	595,854	597,806	△ 1,952
(1) 区庁舎等	102,537	105,040	△ 2,503
(2) 地区センター等	424,710	423,043	1,667
(3) 公会堂	41,078	41,625	△ 547
(4) 国際交流ラウンジ	14,400	14,400	0
(5) 区庁舎・区民利用施設修繕費	7,010	7,579	△ 569
(6) その他(広場・遊び場等)	6,119	6,119	0
合 計	738,059	739,911	△ 1,852

安全・安心なまち

17,757千円

1 災害に強いまちづくり事業【重点・拡充】

7,997千円

避難場所における感染症対策を充実させます。防災ネットワークや関係機関との連携強化、啓発・研修等を通じて、災害に強いまちづくりを区民と協働して推進します。

(1) 区本部機能強化事業

- ア 災害警戒体制早期確立のため、緊急時初動対応グループ研修を実施（4月11日）
- イ 災害時のコロナ対策を踏まえつつ、円滑に行動できるよう、区職員を対象に防災研修会と区本部訓練を実施（9月、1月）
- ウ 区職員に対する普通救命講習を実施し、緊急時における応急救護体制を確保（9月）
- エ 発災時、長時間の災害対策本部体制を確保するための資機材を購入し計画的な備蓄を実施（10月）
- オ 避難指示等に速やかに対応できるよう、指定緊急避難場所への持ち出し品等の物品を拡充（6月、9月）

(2) 地域防災拠点等強化事業

- ア 高齢者等要援護者の拠点用備蓄品の購入
- イ 地域防災拠点の備蓄品の在庫点検、資機材の保守点検及び修繕（全拠点7月、12月）
- ウ 地域防災拠点運営委員を対象とした資機材取扱講習
- エ 地域防災拠点運営委員会情報共有会の実施（2月）
- オ 新任運営委員を対象に感染症禍を想定した避難所開設運営研修の実施（6月25日）
- カ 拠点の訓練などをコーディネートする参与に対し、研修を実施（5月9日・11日）
- キ 女性視点を盛り込んだ避難所づくりに必要な備蓄品の購入【新規】

(3) 緑区防災ネットワーク事業

- ア 防災ネットワーク運営委員会（4月22日）
- イ 防災ライセンスネットワーク連絡会（資機材取扱研修）の開催（5月28日）
- ウ 防災ライセンスネットワーク会員への救命講習（上級）の実施（11月）
- エ 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の実施（2月）
- オ 防災講演会の実施（3月11日 緑公会堂）

(4) 減災行動啓発事業

- ア ハザードマップ等を活用した小学生を対象とする減災マップ作りワークショップの開催
- イ 感染症禍でも現場の臨場感を体験できるように、小学校の新学習指導要領の改訂に合わせた、区役所の災害対策をまとめたDVDを配布
- ウ 小学校低学年を対象に、防災・減災へ興味を持つ入口として、出前防災講話を実施
- エ 自治会・事業者などを対象にマイタイムラインやARアプリ等を活用した減災行動の啓発や、感染症禍での在宅避難・避難場所以外への避難啓発の実施
- オ 地域が抱える防災に関する課題の解決を支援するため、地域防災拠点運営委員会や自治会等に専門家を派遣【新規】



減災マップ作り（R3:森の台小）

(5) 各種マップの増刷

- ハザードマップ等各種マップの増刷

(6) 災害医療活動対策事業

- ア 災害時医療の訓練等の実施

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

イ 保健活動グループの訓練の実施

(7) 霧の里防犯防災活動センター運営

(8) 外国人（要援護者）に向けた減災啓発事業【新規】

年々増加する外国人居住者に向けた防災啓発リーフレット等を東洋英和女学院及びみどり国際交流ラウンジと連携して作成

(9) 妊産婦（要援護者）に向けた減災啓発支援事業【新規】

ア 妊婦や子どもを持つ家庭に向けた災害に備えての準備などをまとめたリーフレットを作成し、母親教室等で配布

イ 災害時用の離乳食を備蓄し、啓発用としても活用

(10) 新型コロナウイルス感染症対策事業

地域防災拠点の新型コロナウイルス感染症対策として、間仕切りテント等を購入

2 安全・安心まちづくり推進事業

1,820千円

安全・安心なまちづくり活動を推進するため、自治会、緑警察署等と連携し、緑区安全・安心まちづくり推進協議会の運営をはじめ、地域での自主的な防犯活動促進のための情報提供・活動支援を行います。

(1) 緑区安全・安心まちづくり推進協議会の運営

ア 総会の開催（5月18日）

イ 活動内容

(ア) 防犯パトロール物品等の提供

(イ) 啓発活動

a 特殊詐欺防止等キャンペーン

（駅頭キャンペーン、イベントでの防犯キャンペーン、啓発チラシ作成・配布等）

b 区民まつり出展（防犯パネル展示、防犯啓発グッズ配布）

(ウ) 防犯リーダー養成講座の開催（各連合自治会の防犯関係者対象）

(2) 振り込め詐欺被害防止事業

防犯協会の防犯ポスターコンクールの入賞作品のうち、特殊詐欺に関する作品について、バスラッピングによる啓発（12月）【新規】

(3) 情報提供・啓発の充実

ア 緑区防犯情報メールの配信

緑警察署から提供される犯罪情報等を横浜市MLシステムで配信

イ 緑区・振り込め詐欺被害防止情報発信拠点事業の登録事業者への情報提供・啓発

ウ 広報よこはまへの啓発記事（振り込め詐欺防止）掲載

エ 子どもの安全を脅かす事件の発生時の連絡体制の充実

情報を必要としている施設（特に未就学の子どもたちを預かる施設や小学生に放課後の居場所を提供する施設）に対し、迅速に情報を発信

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

3 交通安全対策事業

3,774千円

緑警察署及び緑交通安全協会などの関係団体と共に構成している「緑区交通安全対策協議会」として、区内の交通事故減少に向け、交通安全に関する総合的かつ効果的な対策を推進します。特に、高齢者の交通安全や自転車の交通ルール遵守に向けた啓発に重点的に取り組みます。

(1) 緑区交通安全対策協議会の運営

ア 総会の開催及び功労者表彰（4月20日）

【総会は書面開催、功労者表彰式は人数を絞って開催（3団体、6個人を表彰）】

イ 幹事会の開催（4回）（第1回：5月20日）

(2) 交通安全運動推進

ア 各季交通安全運動の実施（駅前広報）

（ア）春の全国交通安全運動・交通事故死ゼロを目指す日

（4月6日 鴨居駅周辺 約60名）

（イ）夏の交通事故防止運動（7月11日 十日市場駅周辺）

（ウ）秋の全国交通安全運動・交通事故死ゼロを目指す日（9月 交通安全緑区民大会）

（エ）年末の交通事故防止運動（12月）

イ 自転車の交通ルール遵守に向けた啓発

（ア）駅前及び交差点での啓発（5月10日 中山駅周辺）

（イ）登校時の高校生への啓発（5月12日 霧が丘高校、5月20日 白山高校）

（ウ）自転車駐車で啓発（6月 区内4駅自転車駐車場）

ウ 交通事故発生状況リーフレットの発行（3月）

(3) 交通安全教育・対策

ア 高齢者交通安全教育・対策

（ア）シルバーリーダー連絡協議会幹事会の開催（4回）

（イ）高齢者向け交通安全教室（緑区交通安全シルバーリーダー研修会）の実施（1月）

イ 児童交通安全教育・対策

（ア）ランドセルカバー贈呈式（4月）【中止】

ミドリンをデザインしたランドセルカバーを作成し、新1年生に配布【新規】

（イ）はまっ子交通あんぜん教室（児童交通安全教育）の実施

（6～7月 いぶき野小学校、上山小学校、鴨居小学校、霧が丘学園小学部）

ウ スクールゾーン対策

（ア）スクールゾーン対策協議会全体研修会の実施

（4月25日 緑区役所）

（イ）スクールゾーン対策協議会への助成

（ウ）電柱巻標識、路面標示の新設・補修

（エ）横断旗等の配布（1月）

(4) 放置自転車対策

ア 自転車等放置防止対策協議会の開催（7月 区内4駅）

イ クリーンキャンペーンの実施（10月 区内4駅）



ミドリンランドセルカバー

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

4 交通安全施設等整備事業

2,500千円

「安全・安心なまち」の実現のため、生活道路やスクールゾーンを中心とした、市民生活に密接した箇所における歩行者の交通安全対策を推進します。

(1) 交通安全施設等整備事業

- ア 日常の陳情やスクールゾーン対策協議会等による交通安全対策に関する要望の集約（4～7月）
- イ 交通安全対策実施予定箇所の選定（7～8月）
- ウ 交通安全対策
区画線の新設・補修、あんしんカラーベルトの補修等の実施（9月～3月）

5 暮らしの衛生推進事業

1,666千円

区民が安全・安心で快適な生活が送れるよう、食中毒や感染症の予防、虫や動物との正しい関わり方について周知・啓発を図ります。

また、発災時における避難所での衛生対策やペット対策について理解を深めていただくよう事業を実施します。

(1) 食品衛生普及啓発事業

- ア 飲食店の営業者及び調理従事者並びに区民に対して「手洗いチェック」や「調理器具等の洗浄度チェック」などの実施
 - (ア) 小学校等への出張講座による、子どもを対象とした食品衛生知識の普及啓発の実施（通年）
 - (イ) コロナ後を見据えた、地域での行事等における食品の取扱い等についての啓発の実施（7月）
- イ 緑区食品衛生協会等と協働で、区民を対象にした食品衛生知識の普及啓発の実施
食中毒予防キャンペーン（8月）
- ウ 高齢者施設や保育所等に対して正しい手洗いやおう吐物の処理方法等ノロウイルス食中毒予防講習の実施（10月）
- エ 衛生管理が優れた区内飲食店施設等（秀級施設）の紹介、ステッカーの配付（1月）、HACCP（ハサップ）の導入支援、改正食品衛生法の内容周知
- オ 区役所イベントスペースでの食中毒予防啓発パネル等展示（8月）

(2) 人と動物との共生事業

- ア 犬の放し飼いの防止やフンの持ち帰りのマナーアップ啓発
 - (ア) 飼い主に向けた犬のしつけ方教室の実施（11月）
 - (イ) 窓口でのチラシ等配布
- イ 動物愛護普及啓発
区役所イベントスペースでのパネル等展示（8月）

(3) 安心・快適な暮らし推進事業

- ア 暮らしの中の虫相談
虫の日（6月4日）にあわせ、衛生害虫啓発のパネル等展示（6月）
- イ アシナガバチ等駆除器材の貸出

(4) 災害時に備えた衛生啓発事業

- ア 災害時のペット対策啓発
 - (ア) 災害に備えた心構えを記載した「ペット防災手帳」の配布

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

- (イ) ペット同行避難に関する市民啓発講演会の開催（8月）
- (ウ) 地域防災拠点でのペット同行避難訓練の実施、ペット用非常持出品等の展示・紹介、緑区獣医師会との協働による発災時対応の啓発及び飼い主グループの把握と情報提供
- (エ) 災害時に使用できるよう、希望する地域防災拠点にスターターキットを配備【新規】
- イ 地域防災拠点における手洗いや、食品・飲料水、トイレの衛生、防虫対策等の啓発



スターターキット

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

② いきいき暮らせるまち 21,742千円

6 健康たうん・みどり推進事業 3,458千円

区民が、生活習慣の改善や生活習慣病の重症化予防及び健全な食生活の実践に取り組むことで、健康寿命を延ばすことができるよう、地域の団体や保健活動推進員、食生活等改善推進員等の関係機関と協働で啓発に取り組みます。さらに、区民が健康づくりに取り組みやすい環境を目指し、地域支援などの仕組みづくりを行います。

(1) 健康づくり月間事業

健康づくり月間イベントとして、区民まつりにおける健康チェック、健康相談、野菜摂取促進等の事業を健康に関連する団体と協働して実施（10月）

(2) 思いやり、健康づくりの日事業

健康チェック（歯科相談、栄養相談、健診の啓発を含む）、推定野菜摂取量測定の実施（9回 6月は食育月間キャンペーンと同時開催）

食生活等改善推進員と連携したウォーキングの実施（6回）

(3) 健康たうん・みどり事業

地域における自主的な健康づくり研修会の実施を支援

(4) みどり食育実践推進事業

ア 食育月間・食育の日キャンペーン

(ア) 食育月間キャンペーン

食育月間（6月）に合わせ、体験型食事診断、野菜をもっと食べようキャンペーン、歯科相談、健康チェック、地場野菜の販売等の啓発を実施（6月21日 思いやり健康づくりの日と同時開催）

(イ) 食育の日キャンペーン

食育の日（毎月19日）に合わせ、体験型食事診断、歯科相談等による食育啓発を実施（3回）

イ 食事診断システムを活用した体験型食育講座

フードモデルを用いた食事診断システムを活用した体験型食育講座を実施

ウ 緑をたっぷり召し上がれキャンペーン

食生活等改善推進員と協働で野菜摂取量促進キャンペーンを実施（4回）

エ 平常時から考える食の備蓄

災害時に備えた食の備蓄の重要性を啓発リーフレット等で周知

(5) 若年層の生活習慣病予防講座

生活習慣改善の意識を持ちにくい子育て世代等の若年層を対象に、子育て支援拠点等の対象者が集う地域の場で、生活習慣病予防の動機づけを図る講座を実施（5回）

(6) 体験型がん啓発事業

がんの触診モデル等の使用・展示による幅広い対象に向けた体験型がん検診啓発を実施

7 共に支えあう福祉保健の地域づくり事業 4,295千円

身近な地域で誰もが安心して暮らし続けられるよう、共に支え合い、つながりのある緑区を目指して、地域、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等と協働しながら、令和3年度に策定を完了した第4期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」を推進します。

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

また、ひとり暮らし高齢者等に対して見守りや訪問を行っている民生委員・児童委員の活動を支援します。

(1) 地域福祉保健計画推進事業

「みどりのわ・ささえ愛プラン」については、推進策定委員会の意見等を踏まえて、各地区共通の課題や区域の課題に対する取組を進めます。また、各地区の計画については、地区別計画推進策定委員会等において推進に係る検討が進められるよう支援します。

- ア みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会の開催（6月24日、3月 2回）
- イ 地区別計画推進策定委員会の開催（11地区）
各地区2回以上開催（6～9月、11月～2月）
- ウ 地区別計画代表者連絡会の開催（5月26日、2月 2回）
- エ 第4期計画推進に係る報告書の発行及び講演会の開催
- オ 地区別計画の推進のための支援

(2) 民生委員見守り訪問事業

民生委員は高齢者に対し電話での安否確認を年間約800回、定期的な訪問を約14,000回実施していますが、別途、健康福祉局所管の「ひとり暮らし高齢者等『地域で見守り』推進事業」への協力として、民生委員、地域包括支援センター、区役所高齢・障害支援課のいずれともつながりのない高齢者を中心に、訪問等による状況確認を実施します。その際、はがきや手紙などにより事前に生活状況等を確認することで民生委員の負担を軽減します。

また、活動をサポートするため担当エリアを明確にした「活動マップ」を宅地開発などによる受持ちエリアの変更等に合わせ更新します。

8 あんしん子育てネットワーク事業【重点】

8,100千円

子どもたちの健やかな育ちを支えるため、当事者への講座、地域の子育て支援活動との連携、各種情報提供により、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行います。

(1) 当事者への支援

ア プレパパ・プレママ教室

土曜に教室を実施し、就労妊婦やこれから父親になる人の参加を促し、地域で同じ子育てをしていく参加者同士の交流の場とするとともに育児の知識を提供します。

（緑区役所 年12回、うち2回実施）

イ 赤ちゃん教室

0歳の第1子と保護者及び妊婦を対象に、育児講座を開催します。

（14か所の会場で各9回 計126回、うち18回実施）

ウ 歯つらつ1歳児

1歳児と保護者を対象に、歯みがき練習と虫歯予防教室を実施します。

（1日コース9回、うち1回実施、2日コース3回、うち1回実施）

エ ママのハートバランス事業

養育者の抱える育児不安などの思いを言葉に出し、養育者自身の気持ちを整理することにより、育児不安の軽減や、心のバランスをとっていくことを目指し、個別相談を実施します。（個別相談15回、うち2回実施、スーパーバイズカンファレンス年1回）

(2) 子育て支援

ア 繁忙期の窓口対応等での見守り保育

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

保育所、児童扶養手当等の繁忙期の個別相談や、乳幼児健診などでのきょうだい児の見守り保育を実施します。

イ 地域での子育て支援活動育成事業

子育てサークルや子育てサロンの活動に助成します。

ウ みどり子育て支援連絡会

地域の子育て支援のネットワークの充実を目指し、子育て支援活動団体同士の交流、情報交換等を行います。

エ 緑区子育て支援者事業

地域の協力を得て、親子で集い、交流や情報交換ができる場を作ります。

(3) 情報提供

ア 子育て支援情報のホームページ・メールマガジン

区内の子育てイベント等をホームページ「みどりっこひろば」とメールマガジンで発信します。(メールマガジン毎月1回配信)

イ みどり子育て応援ガイドブック

区内の子育て情報をガイドブックに集約し、配布します。

ウ 「みどりっ子カレンダー」

子育て中の家庭に対して、区内の保育・教育施設が地域に開放している行事やサービス等の情報を毎月カレンダー形式で発行し、利用促進を図ります。

エ 保育施設のご案内

保育施設の利用を希望される保護者に各施設の情報を提供するため、緑区版の保育施設のご案内(5月2,000部、10月3,000部)、よくある質問に答えるリーフレットを発行します。

オ 乳幼児健診情報提供

乳幼児健診時等に放映する、乳幼児健診の内容や子育て情報を伝える映像の内容を更新します。

カ 放課後事業情報提供

放課後児童クラブと放課後キッズクラブの事業や、区内の各クラブを紹介するパンフレットを作成します。

(4) 新型コロナウイルス感染予防対策

安心して各事業の実施が出来るように、消毒液等、新型コロナウイルス感染予防対策用物品を購入します。

9 保育所すこやか子育て支援事業

2,170千円

緑区の子どもたちに関わる全ての人がつながり、切れ目のない支援を目指して、区内保育施設等とのネットワークの構築を進めます。離乳期のための「離乳食ランチ交流事業」、授乳、おむつ替えや育児相談が気軽にできる「赤ちゃんの駅事業」などを実施します。

また、「あつまれ!みどりっこまつり」を継続することでスタッフ・参加者のネットワークを拡充し、地域の子育て支援を推進します。

(1) ネットワーク事業

ア あつまれ!みどりっこまつり

未就学児とその保護者を対象に、公立園と民間園が協力し、保護者が育児に活かせる内容を提供することで、家庭の子育て力の向上を図ります。

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

イ 赤ちゃんの駅事業

授乳・調乳・おむつ替えができるスペースを市立保育所等に設置し、地域の親子に開放します。必要に応じて、保護者の育児不安等にも対応することにより、子育ての孤立化を防ぎます。

(2) 市立保育所での育児支援事業

ア 保育アドバイザー（保育士）派遣事業

地域の子育てサークルの活動を支援し、保育士が地域の親子に育児相談やおもちゃ等を利用した遊びの紹介を行います。

イ 絵本の貸出

園庭開放に参加した地域の親子への絵本の貸出しや、お話し会の実施など、親子で本に親しむ機会を増やします。

ウ 施設開放の拡充

十日市場保育園においても、育児支援センター園（長津田保育園・鴨居保育園）と同等の週5日の施設開放（園庭開放・ホール開放）を実施し、子育て支援の充実を図ります。

エ 離乳食ランチ交流【4・5月中止】

調理員・保育士が離乳食の説明をしながら、親子に実物の離乳食を試食してもらい、調理法の工夫等を伝えて、食に関する育児不安の解消につなげます。保育園以外の事業・相談窓口との連携を深め、効果的に事業を実施します。

(3) 市立保育所での地域交流事業

グリーンカーテンをすることで地球温暖化に対する子どもたちの意識を育むとともに、地域の協力を得ながら、伝承遊びや花苗育成を通じて、高齢者と園児・地域の未就学児等との交流を図ります。

10 DV対策・児童虐待防止事業

645千円

DV被害者への相談の充実を図り自立を支援するため、弁護士による法律相談を行います。また、児童虐待ケースに関わる職員のスキルアップを目的とした研修を実施します。

(1) DV対策事業

DV問題に造詣の深い弁護士による法律相談の実施（年12回、うち2回実施）

(2) 児童虐待防止事業

さまざまな課題を抱える家族への支援を行う職員向けのスキルアップ研修（年2回実施）

11 青少年地域サポート事業

1,151千円

次代を担う青少年の健全育成推進を目的に、環境づくり等、様々な取組を進めます。また、地域の青少年育成の担い手である市民活動団体等による活動に対して支援を行います。

(1) みどりっこ育成活動支援事業

緑区内の市民活動団体等による青少年育成活動支援

(2) 緑区青少年活動事業

緑区子ども会連絡協議会、緑区山下地区青少年育成会の活動支援

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(3) 青少年地域サポート事業運営費

青少年育成に対してより良い社会環境の醸成に向けた啓発活動や地域交流支援

(4) 区内大学等と連携した青少年向け体験講座事業

区内大学と連携し、主に中学生を対象とした科学技術分野の実験教室などを開催

12 高齢者生きがい推進事業

463 千円

高齢者がこれまでに培った経験や能力を生かして生涯現役で活躍し、住み慣れた地域でいきいきと暮らしていけるよう、老人クラブの活性化及び加入促進を図り、高齢者の社会参加や交流を促進します。

(1) シルバーフェスティバル等の実施

ア シルバーフェスティバル（3月）

イ 囲碁・将棋大会（12月）

(2) 老人クラブ加入促進のための啓発活動等

ア 区民まつりにおける啓発グッズの配布

イ 老人クラブ啓発用封筒の印刷

13 障害者自主製品販売支援・障害理解促進事業

460 千円

障害者通所施設が行っている自主製品販売を支援することによって、障害者の社会参加や生きがいづくりの場を充実させます。また、障害福祉についての啓発を通して区民の障害への理解を促進します。

(1) 共同販売の推進

ア 区役所での共同販売「みどりハートフルマーケット」の場の設定

イ 販売チラシ作成

(2) 商品の魅力アップ支援

商品（自主製品）及び受注作業の魅力を紹介する冊子「ミドリビト」（令和2年度作成）の改訂

(3) 障害理解の促進

ア 障害者週間に合わせた啓発イベント開催（12月）

イ 障害者週間に合わせて区内障害福祉施設等を巡るスタンプラリー実施（11～12月）

14 地域特性データ集作成事業【新規・重点】

1,000 千円

令和2年国勢調査の数値等を活用し、地域の状況や課題の共通認識を持ち、地域特性（強み・弱み）に応じた事業を展開するためのデータ集を作成します。

(1) 区全体の人口等に基づく基本情報及び個別情報等のデータ集

(2) 地区別のデータ集

(3) 各種データのホームページでの掲載

③ みどりの魅力あふれるまち 58,084千円

15 花と緑あふれるふるさと緑区事業【重点】 5,000千円

花と緑あふれるまちづくりを目指すため、街路樹の補植を実施し、道路の緑化を進めるとともに、公園愛護会やハマロードサポーター、自治会等の区民が交流を図りながら花苗講座を受講することにより花と緑を主体的に育てるサポーターを育成します。



花と緑のサポーター養成講座
(R3: 緑土木事務所)

- (1) 街路樹の補植
補植の実施（山下長津田線など）（8月～3月）
- (2) 花と緑のサポーター養成講座
2グループに分けて実施（全10回）
 - ・ 第1回講座：4月28日
 - ・ 第2回以降：6月～3月

16 生物多様性保全に向けた遊水地等の環境整備事業 3,000千円

豊かな自然が残る梅田川遊水地等において、市民団体等と連携して在来種の保全及び生物多様性に配慮した施策を展開し、区民の環境保全の意識を高め、再発見した緑区の魅力を内外に発信します。

- (1) インターネットなどを活用した情報発信
市民ボランティアの活動状況をみどりフォトニュースなどに紹介（通年）
- (2) カレンダー等の配布
緑区の生物多様性をテーマにカレンダー等を製作・印刷して小学校に配布（6～12月）
- (3) サインボードの設置
緑区の生物多様性をテーマにサインボードを製作・設置（2箇所）
- (4) リーフレットの配架
緑区の生物多様性をテーマにリーフレットを作成し、区役所や駅など人が集まる場所に配架（6～12月）

17 魅力ある公園づくり事業【新規】 1,000千円

コロナ禍で身近な公園が注目されている一方で、公園愛護会員の高齢化が進み、十分な維持管理が困難な公園も存在します。公園愛護会のモチベーション向上と活性化を図るための事業を実施して適切な維持管理を継続し、親しまれる公園づくりを図ります。

- (1) 公園愛護会 PR 資料作成
 - ア 公園愛護会の紹介記事原稿を作成し、広報よこはま緑区版8月号から順次掲載予定（令和4年度は15公園愛護会を対象予定）
 - イ 広報よこはまに掲載する公園愛護会特集記事の原稿を作成



公園愛護会の活動の様子(谷津田原公園)

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(2) 公園カレンダー作成

公園花壇に咲く花や愛護会の活動状況を紹介する
カレンダーを作成して公園愛護会に配布

18 とれたてみどり地産地消推進事業

2,867千円

緑が豊かで農業の盛んな緑区において、区庁舎での農産物直売所、地産地消講座、地産地消みどりグルメスタンプラリーなどを実施することで、緑区の農の魅力を広く区民に発信するとともに、地産地消の推進を図ります。

(1) 区庁舎直売所事業

緑区庁舎内における直売所での地元農産物の販売を通して、「農」の魅力をPRするとともに、「農」に対する理解を深めます。(毎週火・木曜日)

また、JA横浜と共催で実施している地場野菜の直売会を通して、生産者と消費者のコミュニケーションの機会を作ります。(5月13日、6月17日、7月8日、10月21日、11月11日、12月9日 緑区役所)

(2) よこはま地産地消サポート店を通じた地産地消促進事業

「農」に関する飲食店への情報発信や区民、農家、飲食店との交流会、よこはま地産地消サポート店を巡るスタンプラリー等の実施により、飲食店における地産地消を促進します。また、令和元年度に行った飲食店調査結果を活用し、よこはま地産地消サポート店の登録促進を行います。

(3) 地産地消情報発信事業

多くの区民に地産地消や野菜に関心を持っていただけるよう、広報よこはまみどり区版で地産地消コラムの連載、緑区ウェブサイトやフェイスブック等での情報発信を行います。また、「地産地消みどりグルメガイドマップ」「とれたてみどり緑区直売所マップ」「みどりとれたてレシピ集」を改訂します。

(4) 地産地消講座事業

畑での収穫体験等を実施することで、「地産地消」の取組を身近に感じてもらいます。(7月13日ほか1回)

19 みどり地域まちづくり推進事業

2,695千円

平成26年12月に改定した「緑区まちづくり計画」の具体化を進めるため、地域住民主体のまちづくり支援を実施します。

(1) 住民主体のまちづくり支援

山下地区、東本郷地区、十日市場地区等、住民主体により行われている地域のまちづくりについて、地域ごとの課題や取組みに応じた支援を行います。また、新たな地区での支援についても、専門家派遣等により対応します。

(2) 山下地域交流センター活用事業

地域に愛される市民利用施設となるよう、地域と一緒に耐震補強等工事後を見据えた施設活用や運営方法等を検討していきます。



山下地域交流センター

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(3) 緑区案内・誘導サイン等維持管理事業

区内に設置している案内・誘導サインについて、計画的かつ効率的に改修・更新を行っていきます。

また、バリアフリー基本構想の策定やまちづくりの進捗等に応じて、案内サインの新設・撤去や情報更新を継続的に実施していきます。

(4) 地域のつながり支援事業

空き地・空き家・空き店舗を活用し、地域のつながりづくりに寄与する施設の設置を促進します。

地域団体に空き地等を無償で利用してもらう一方、所有者に対し奨励金を支払います。

20 子どものまちづくりイベント Mini Mini Midori

3,500千円

次世代を担う子ども達がまちづくりに携わる楽しさを知るきっかけを作るため、子ども達が自らまちをつくり・運営するイベントを実施します。(11月12・13日 長津田地区センター)

また、企画段階から参加し、イベント当日にはまちのリーダーとして活躍する子ども実行委員を公募しました。(4月28日～5月20日、応募者80人のうち実行委員41人を決定)



イベント当日の様子
(R3: 山下地域交流センター)

21 ふるさとみどり魅力発信事業【新規・重点】

7,512千円

地域への愛着や郷土愛を育むとともに、あらゆる世代がまちづくりに参加し、住みたい、住み続けたいと思える緑区を目指すため、緑区の魅力(自然、農、歴史、街並み等)を区民とともに見つけ、市内外に広く発信していきます。

(1) 緑区プロモーション戦略策定事業

緑区の人口は、港北区や鶴見区等の市中心部からの転入超過による社会増が続いていましたが、令和4年1月1日時点の推計人口では前年同月比で106人の減少となりました。近隣の町田市や相模原市等への転出も一定数見受けられており、転出入等の実態を把握するためのアンケート調査を実施します。

また、アンケート調査の結果や、新設された政策局シティプロモーション推進室が年度内に策定予定の「戦略的広報プロモーションの基本方針(仮称)」等も踏まえて、今後の移住・定住促進及びシティプロモーション等の施策を区役所全体で効果的に推進するため、「緑区プロモーション戦略」を策定していきます。

(2) アートによる緑区の魅力発信事業

視覚的・直観的な「アート」という表現手段を活用することで、子どもたちや地域の新たな担い手をはじめとする「次世代」にも、地域の魅力(自然、農、歴史、街並み等)を分かりやすく発信し、アートに触れる機会を創出するとともに、地域の活性化を図るため、昨年度に引き続き「山下学舎文化祭」を開催します。(8月16日～21日 山下地域交流センター)



黑板アート(R2: 白山高校卒業生制作)

また、新たにアート作品やフォトコンテスト入賞作品等のラッピングバスを2台運行し、区内外の街を行き交う方やドライバーなどに緑区の魅力を広く発信します。

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(3) 緑区フォトアーカイブ事業

区内の移り変わりを写真で残し、オープンデータ「緑区フォトアーカイブ」として提供します。また、フォトコンテストを実施し入賞作品をオープンデータとして提供するとともに、カレンダーを作成します。

(4) 緑区遺産事業

区内にある有形の歴史的・自然的・文化的地域資源を「緑区遺産」として登録し、緑区遺産紹介冊子、看板等設置補助により、事業PRを図ります。(5月末現在の登録数 21件)

22 みどり環境行動啓発事業

1,000千円

地球温暖化対策等に関する啓発のため、講演会等のイベントを実施します。イベント開催に伴う3密を避けるため、聴講者の人数制限やオンラインを活用します。

また、スーパーマーケットの店頭において、省エネ行動や3R行動、ワンウェイ・プラスチック削減などを啓発します。

23 読書活動推進事業

500千円

「緑区読書活動推進目標」に基づき、子どもから大人まで多くの人が本とふれあい、読書を楽しめるように、緑区の地域性を生かした取組を進めていきます。

(1) 赤ちゃんからお年寄りまで本に親しむ環境づくり

ア 青少年向け読書啓発事業

イ おはなし会ネットワークの支援

ウ 緑図書館におけるCDブック貸出事業

エ 区民まつりにおける読書啓発イベント「本の交換会」

(2) ボランティアの育成

中高生図書館ボランティア体験事業(8月)

(3) ネットワークを活かした家庭・学校での読書活動の推進

地区センター等における赤ちゃん絵本セット貸出事業

(4) 区の特성에応じた読書活動の推進

読書活動推進連絡会開催、読書まっぷ(第二次読書活動推進目標)配布、まちライブラリー支援事業等



ボランティアの育成(3年度)

24 緑・芸術文化事業

2,160千円

区民が芸術文化を通じて創造性のある心豊かな暮らしができるよう、身近な場で多様な表現活動に触れることのできる機会確保を目指し地域芸術文化団体の活動支援を実施します。

また、表現活動を実践する新たな人材の確保・育成を図ると共に、より裾野を広く区民が文化芸術に興味を持てる機会の提供を行い、緑区内における文化芸術振興を図ります。

(1) 緑・芸術文化活動支援事業

ア 区内芸術文化団体の事業に対する支援

(ア) 緑区民音楽祭実行委員会

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

安価で質の高い演奏会の開催、若手新人演奏家発掘等（みどりアートパーク）

- ・第139回ふれあいコンサート「輝かしきカルテットの仲間たち」（6月26日）
- ・第140回ふれあいコンサート「第6回緑区民音楽祭新人演奏会」（9月11日）

(イ) 緑区コーラスの会

- ・緑区コーラスのつどい（10月23日）

(ウ) GROUP 創造と森の声

- ・森ラボ2022（4月24日～5月15日、8～10月 里山ガーデン、横浜動物の森公園 植物公園予定地）

(エ) 公募事業を対象とした支援（文化芸術イベントが対象）

イ 区庁舎1階イベントスペースを活用した区民文化振興

(ア) 「お昼のロビーコンサート」開催

- （年4回程度、緑区民文化センターと連携開催）

(イ) 「サークルミニギャラリー」開催

- （年4回程度、区内文化系団体による展示）



ロビーコンサート（元年度）

(2) 交流と人材育成

ア 提案型ロビーイベント（企画公募、年4回程度）

イ 芸術文化活動の振興を目的としたイベントの実施

若年層の掘り起こしを目的としたワークショップ等の開催（10月～3月）【新規】

ウ 区内芸術文化団体の情報発信（緑区HPで団体紹介ページを作成 通年）

25 3R推進事業

2,258千円

「ヨコハマ3R夢プラン」を推進するため、「食品ロス」・「プラスチックごみ」削減の啓発に重点的に取り組み、区民・事業者・行政が協働して3R推進事業を展開します。

(1) みどり環境行動推進協議会の運営

総会・みどり環境行動推進者表彰式の開催（5月18日、4団体7個人を表彰）

(2) 3Rの普及・啓発

- ア 小中学校・保育園等への出前講座の開催
- イ 店頭キャンペーン（4回）
- ウ 各種イベントや地域のまつり等での啓発
- エ 広報区版などを活用した啓発
- オ 緑ECO通信の発行（2回）
- カ 転入者向け啓発・分別相談（4月、3月）
- キ 不要品交換ボード「ゆずります・ゆずってください」の運用
- ク 緑区フードドライブの推進

26 きれいなまちづくり事業

2,498千円

緑区からポイ捨てや不法投棄をなくして魅力あふれるまちづくりを目指すため、花いっぱい活動・地域ふれあい活動・駅さわやか活動を展開します。

(1) 花いっぱい活動事業

地域と協働して季節の花苗を沿道に植栽します。（5月7日・19日、11月）

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(2) 地域ふれあい活動事業

- ア 地域清掃活動団体への支援
- イ 不法投棄対応

(3) 駅さわやか活動事業

- ア 中山駅周辺及び区庁舎周辺の清掃
 - (ア) 中山駅周辺における地域住民・商店街・事業者による早朝清掃（5月27日、11月）
 - (イ) 区職員による区庁舎周辺早朝清掃
- イ 駅周辺でのポイ捨て禁止キャンペーンの開催
中山駅（2回）、長津田駅、鴨居駅、十日市場駅（2回）
- ウ みどりサンタプロジェクトの実施



みどりサンタプロジェクト（3年度）

27 緑区商店街振興事業

2,706千円

消費者と商店街の顔の見える関係づくりを支援し、大型店にはない商店街ならではの“魅力”を地域の消費者に再発見してもらうことで、集客力を高め、地元商店街の活性化につなげていきます。

(1) 「商店街 Special Week 事業」

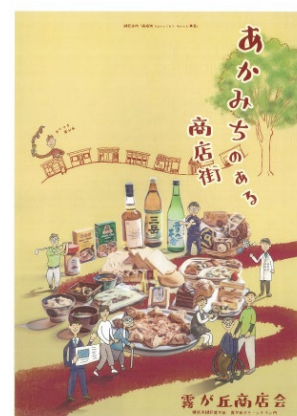
区内7商店街の魅力ある写真とキャッチコピーを使用したポスターを制作し、公共スペースに掲出するとともに、マスメディアと連携してPRし、活性化につなげます。令和3・4年度で7商店街を一巡します。

（令和4年度は、竹山団地中央商店会、長津田商店街協同組合、鴨居商栄会の3商店街で実施）

(2) 「商店街ポイントラリー」

各商店街が持つ地域に根差したサービスや商品を消費者に伝えるとともに、消費者が商店街に足を運んで地元商店街の魅力を再認識してもらうことを目的に、区内7商店街が一体となって企画運営して開催します。

商店街と引き続き連携しながら、賞品構成、参加店舗数などを一層充実させて実施します。



商店街PRポスター（3年度）

28 区民まつり事業【拡充】

5,600千円

区民同士の交流を深め、区民のふるさと意識を醸成するとともに、世代間を超えた連帯と区全体の活性化を図ることを目的として、区内各種団体の代表者で構成されている「緑区民まつり実行委員会」が主体となり、様々な世代の参加する「緑区民まつり」を県立四季の森公園及び緑公会堂で開催します。（10月16日（日）10時～15時）

開催に向けて、実行委員会へ補助金を交付するとともに、会場内での新型コロナウイルス感染症対策の実施や緑区民まつりPRのためのポスター、リーフレットを作成します。



区民まつり会場（元年度）

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

29 地域振興事業

2,189千円

地域の主体的な活動を支援するため、地域要望の把握や地域への情報提供など、双方向のコミュニケーションを大切に、地域との良好な関係を構築します。

また、自治会活動を通じて地域の振興に貢献している自治会長の労をたたえ、感謝会を開催し、永年在職の自治会長を表彰します。

(1) 緑区自治会町内会長感謝会の開催

自治会長感謝会を開催し、自治会長5年在職者を区長から表彰します。なお、10年以上の自治会長については5年毎に、横浜市自治会町内会長永年在職者表彰式で市長から表彰します。(3月)

(2) 回覧物等配送業務

自治会に対して、市・区から回覧等を依頼することによる負担を軽減するため、月ごとに取りまとめて送付します。

(3) 自治会加入促進の支援

自治会加入に向け、転入者へのご案内のほか、個別の自治会の求めに応じて自治会と連携した取組を進めていきます。



自治会加入促進リーフレット

30 市民活動パワーアップ支援事業

3,462千円

緑区市民活動支援センター「みどりーむ」を拠点に、緑区市民活動支援センター運営委員会と協力し区民主体による魅力ある地域づくりや自律的な市民社会の形成を目指した事業を実施します。

また、緑区における公益的な活動や地域課題解決への取組を支援するため、地域の公益的活動に対して補助金を交付します。

(1) 講座・セミナー開催事業

防災・減災講座(7月31日)、夏休み子ども体験講座(8月15日~20日)など

(2) 市民交流事業

- ア みどり市民活動交流会(9月25日)
- イ サロンふらっと
(4月17日 23人、6月19日、8月21日)
- ウ ちょっと先生の講座(11月29日、2月12日)
- エ みどりーむまつり
- オ Open!みどりーむ
(7月24日、10月30日、2月11日)



Open!みどりーむ(R3:オンライン開催)

(3) 生涯学級事業

「横浜線ものがたり」(4月9日 34人、4月22日~6月24日 5回 各回17人)
「自然を楽しむ」(4月12日~6月7日 5回 各回17人)など

(4) 緑区内地域施設間連携

緑区地域施設間連携会議及び研修会の開催

(5) 緑区市民活動支援センターのコーディネート機能の強化

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

ICT活用支援体制の充実を図るため、みどり一む職員向けのオンライン事業コーディネート機能強化研修の実施と併せて、区民向けにもオンライン会議・イベントを開催する仕組みを学ぶ講座を実施

(6) 緑区地域課題チャレンジ提案事業

公益的活動に対する補助金の交付（13団体）、うち脱炭素化に寄与する活動に対する補助金の交付（5団体）

(7) ぱそこんひろば@みどり事業

ア パソコン・スマホ相談コーナー「めだかの学校」の開催

（緑区市民活動支援センター 毎週火・木・土曜日）

イ パソコン・スマホ初心者対象の講習会「めだか塾」の開催

（緑区市民活動支援センター 毎月1講座）

ウ パソコン・スマホの機能を学ぶ講習会「IT講習会」の開催

（緑区市民活動支援センター 4講座、各地区センター 4講座）

31 みどリスports振興事業

1,854千円

区民が主体となって運営するスポーツ振興団体やスポーツ振興イベントの支援を行い、また、気軽にスポーツ文化に楽しむことができるイベント等を区としても実施し、区民がより健康で多様な豊かな暮らしができる環境づくりを進めます。

(1) 緑区スポーツ協会事業

加盟する各団体等（15団体、3関連団体）の各種大会やスポーツ振興活動に対する支援

(2) みどリスportsフェスティバル

緑区スポーツ推進委員連絡協議会、緑区さわやかスポーツ普及委員会、緑区スポーツ協会の3者による、誰もが気軽に様々なスポーツを楽しむことができる総合スポーツ体験型イベントを支援（6月26日 緑スポーツセンター）



みどリスportsフェスティバル
（元年度）

(3) みどリスports振興事業

ア 緑区ランニングフェスタの開催（12月下旬）

イ 横浜DeNAベイスターズによるキッズベースボールフェスティバル（11月）

ウ その他プロスポーツチーム連携事業、スポーツ体験会や講演会等（秋季）

32 広報・広聴事業

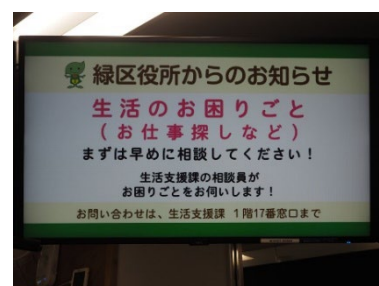
2,643千円

(1) みどり区区民生活・防災マップ事業

区内の公共施設や医療機関、防災拠点、地震・風水害情報等を掲載したマップを転入者等に配布します。

(2) 広報発信力アップ事業

迅速に情報が提供できるウェブサイトの長所を活かし、緑区ウェブサイト・緑区ツイッター・LINE・民間広報媒体と協力した情報発信を行います。併せて区庁舎2階の情報モニターを活用し、来庁者への広報も充実させます。



情報モニター

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

また、区内4駅6か所のPRボックスに、広報よこはま区版の特集ページの掲出と追加補充、区の事業に関するチラシの配架を行います。（毎月1日・10日）

(3) 緑区役所意見箱運営事業

緑区役所庁舎内に意見箱を設置して、来庁者から区役所運営等に関わる意見・要望・提案をいただき、区民満足度の向上や区政の合理的な運営を図ります。

(4) 緑区「ふれ愛トーク」の開催

緑区内で地域活動を行う団体と区長が活動内容等について意見交換します。実施したふれ愛トークは、その概要を広報よこはま緑区版やウェブサイト等で紹介していきます。

33 区民から親しまれる区役所づくり事業【拡充】

5,640千円

「おもてなしの行政サービス」による区民満足度向上のため、区役所職員の接遇向上や庁舎環境の整備に取り組むとともに、人権問題への「気づき」の場として、職員向け人権啓発研修や区民向け人権啓発講演会を実施します。

また、緑区の発展や区政に功労のあった個人又は団体に対し、表彰を行います。

(1) 接遇向上等研修事業

職員に対する研修を実施し、窓口接遇スキルの向上を図ります。（10～11月）

(2) 人権啓発・職員研修事業

偏見や差別を自分自身の問題としてとらえ、人権問題への「気づき」の機会とするため、区民向け人権啓発講演会を実施します。

また、職員向け人権啓発研修等を実施し、職員の人権意識向上を図ります。

(3) 緑区表彰事業

緑区の発展や区政に功労のあった個人又は団体に対し、その功績を称え、表彰を行います。

(4) 緊急的課題への対応

新型コロナウイルス感染症対策など緊急的課題に対応するとともに、区民の方がより利用しやすい区役所となるよう窓口環境等の整備を行います。また、来庁者に快適に過ごしていただけるよう庁舎の美化・緑化を進めます。

(5) 緑区データ集作成事業【新規】

令和4年度は新たに予算を計上し、人口増減や年齢別人口など、区の統計データをまとめたデータ集「教えてみどり」を作成し、データをホームページで公開します。